

平成24年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年12月5日

上場取引所 大

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 梅森 輝信
 (氏名) 小関 幸太郎

TEL 0568-23-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第1四半期の業績(平成23年8月1日～平成23年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第1四半期	873	△3.8	7	△86.9	7	△87.2	6	△82.8
23年7月期第1四半期	908	△10.7	57	65.7	60	66.3	37	65.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第1四半期	0.74	0.73
23年7月期第1四半期	4.30	4.29

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第1四半期	4,457	2,848	63.7
23年7月期	4,613	2,880	62.3

(参考) 自己資本 24年7月期第1四半期 2,840百万円 23年7月期 2,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	3.50	—	4.50	8.00
24年7月期	—	—	—	—	—
24年7月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	13.7	69	17.0	70	9.7	41	8.8	4.73
通期	4,200	6.7	168	△25.2	170	△26.9	100	△27.9	11.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

④ 修正再表示

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期1Q	8,994,000 株	23年7月期	8,994,000 株
24年7月期1Q	231,670 株	23年7月期	230,707 株
24年7月期1Q	8,763,167 株	23年7月期1Q	8,763,627 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(2) 追加情報.....	4
3. 四半期財務諸表.....	5
(1) 四半期貸借対照表.....	5
(2) 四半期損益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で停滞していた企業の生産活動が回復しつつあった一方で、欧米諸国の金融不安を背景とした急激な円高が進行するなど、景気の先行きに対する不透明感が増している状況が続いております。

包装機械業界におきましては、顧客企業の設備投資の抑制傾向などにより、受注環境は厳しい状況が続いているものの、緩やかな回復傾向で推移しました。

このような状況のなか、当社は積極的な広告宣伝・販売促進活動を推進し、新規顧客と新たなマーケットの開拓、新機種 of 拡販、海外販売の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間における売上高につきましては、保守消耗部品その他の売上高が減少したことから、前年同期に対し34百万円の減収となりました。

一方、受注高につきましては、設備投資需要の緩やかな回復に伴い、中小型案件の受注実績が増加したことから、前年同期を上回りました。

収益面につきましては、売上高の減少に伴い、売上総利益も前年同期を下回りました。一方で、販売費及び一般管理費は、大型展示会費用の発生等に伴い前年同期より増加したことから、営業利益及び経常利益につきましても、前年同期より減益となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は873百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益7百万円(前年同期比86.9%減)、経常利益7百万円(前年同期比87.2%減)、四半期純利益6百万円(前年同期比82.8%減)となりました。

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであります。単一セグメントを品目別に分類した場合における品目別売上高の概況は次のとおりであります。

給袋自動包装機は、販売台数が増加したことから、売上高は550百万円(前年同期比21.1%増)となりました。

製袋自動包装機は、販売台数が増加したことから、売上高は74百万円(前年同期比38.9%増)となりました。

包装関連機器等は、包装システムの実績が減少したことから、売上高は15百万円(前年同期比87.2%減)となりました。

保守消耗部品その他につきましては、高額な保守案件の実績が減少したことから、売上高は233百万円(前年同期比16.1%減)となりました。

なお、当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は3,521百万円となり、前事業年度末に比べて146百万円減少いたしました。この主たる要因は、現金及び預金が前事業年度末に比べ40百万円、たな卸資産が前事業年度末に比べ88百万円増加したものの、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額との合計額が前事業年度末に比べ305百万円減少したこと等によります。

固定資産につきましては、当第1四半期会計期間末残高は936百万円となり、前事業年度末に比べて9百万円減少いたしました。この主たる要因は、有形固定資産が減価償却処理等により前事業年度末に比べ9百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ155百万円減少し、4,457百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,531百万円となり、前事業年度末に比べて128百万円減少いたしました。この主たる要因は、仕入債務が前事業年度末に比べ85百万円減少したこと、未払法人税等が前事業年度末に比べ41百万円減少したこと等によります。

固定負債につきましては、当第1四半期会計期間末残高は77百万円となり、前事業年度末に比べて4百万円増加いたしました。この主たる要因は、役員退職慰労引当金が前事業年度末に比べ5百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ124百万円減少し、1,608百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高につきましては、配当金の支払に伴う利益剰余金の減少等により、前事業年度末に比べ31百万円減少し、2,848百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、一部に需要の回復が見られるものの、全体としては顧客企業の設備投資は低調に推移し、受注環境は厳しい状況が続くものと予想されます。

当社におきましては、新規顧客と新たなマーケットの開拓などに取り組むとともに、売上総利益の向上に努め、収益の確保を目指してまいります。

今後の業績の見通しにつきましては、現在までのところ、ほぼ計画通りに推移していることから、見直しを実施しておりません。

以上により、平成24年7月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年9月6日発表「平成23年7月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の業績予想値と変更はありません。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、4円27銭であります。

(2) 追加情報

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,623,897	1,664,602
受取手形及び売掛金	1,161,572	844,649
仕掛品	353,307	378,260
原材料及び貯蔵品	310,051	373,765
未収入金	170,422	189,004
その他	48,847	71,087
貸倒引当金	△9	△6
流動資産合計	3,668,091	3,521,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	557,202	548,823
土地	280,603	280,603
その他(純額)	18,937	17,379
有形固定資産合計	856,743	846,807
無形固定資産	14,572	13,890
投資その他の資産	74,018	75,461
固定資産合計	945,334	936,159
資産合計	4,613,426	4,457,522
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,226,967	1,141,103
未払法人税等	48,282	6,526
賞与引当金	—	23,802
役員賞与引当金	10,500	—
製品保証引当金	11,036	8,589
その他	362,708	351,294
流動負債合計	1,659,495	1,531,317
固定負債		
退職給付引当金	35,985	34,725
役員退職慰労引当金	37,300	42,710
固定負債合計	73,285	77,435
負債合計	1,732,781	1,608,752

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	282,269	282,269
利益剰余金	2,378,550	2,345,589
自己株式	△43,016	△43,209
株主資本合計	2,869,380	2,836,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,572	3,775
評価・換算差額等合計	3,572	3,775
新株予約権	7,692	8,768
純資産合計	2,880,645	2,848,769
負債純資産合計	4,613,426	4,457,522

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)
売上高	908,056	873,936
売上原価	658,789	639,772
売上総利益	249,267	234,163
販売費及び一般管理費	192,066	226,695
営業利益	57,201	7,468
営業外収益		
受取利息	443	131
仕入割引	—	215
設備賃貸料	2,400	—
自販機手数料収入	152	171
その他	648	295
営業外収益合計	3,644	813
営業外費用		
支払利息	509	552
その他	0	0
営業外費用合計	509	552
経常利益	60,335	7,729
税引前四半期純利益	60,335	7,729
法人税、住民税及び事業税	33,341	5,614
法人税等調整額	△10,676	△4,358
法人税等合計	22,664	1,256
四半期純利益	37,671	6,473

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。